

## 内閣府 枝野大臣、大塚副大臣、田村政務官政務三役会議 議事概要

日時：平成22年4月30日(金) 12:00～12:20

場所：枝野大臣室

議題：○規制・制度改革担当事務局関係

- ・分科会・WGでの検討について
- ・医療ツーリズムに係る政務官折衝結果について

○地域活性化推進室（構造改革特区担当）関係

- ・構造改革特別区域提案及び認定の臨時受付の処理について
- ・総合特区について

○公正取引委員会関係

- ・平成23年度新規採用について

主な議論の内容：

（規制・制度改革担当事務局関係）

○昨日開催されたWGにおける集中審議の結果および本日の分科会について副大臣より報告があった。テーマごとの対処方針については、分科会終了後に副大臣より記者会見を行う予定であるが、あくまでも中間段階での認識を記載している旨を強調しておくとの発言があった。

○先立って行なわれた医療ツーリズムに関する足立厚生労働大臣政務官との第1回交渉結果について、政務官より報告があった。大臣より、規制や特区などの改革の成果について、いかに世の中に役立つかを政務三役が説明していく必要があり、成果が出たその都度発表するようにとの指示があった。

（地域活性化推進室（構造改革特区担当）関係）

○特区提案の検討状況について、大臣より、本日の閣議後記者会見にて発表した旨の報告があった。

○本日開催の国家戦略室による成長戦略ヒアリングにおいて、総合特区を説明予定である旨、副大臣より報告があった。総合特区については、今後自治体や民間企業等と連携し、できるものからやっていきたい、との発言があった。

（公正取引委員会関係）

○総務省の新規採用提示数に対する公取委の意見について、政務官から説明があった。副大臣より、与えられた人数で業務を行いうるような工夫・改善をするべきではないか、との発言があった。大臣より、この採用抑制案（が議論された閣僚懇談会）に関わった立場でもあるので一旦預かり、別途事務方から説明を受けるとの発言があった。

以上